

スキンケアの目的が変わった転換点

-『健康』から『美容』に-

スキンケアが健康から美容へと目的が変わった転換点は、19世紀初頭とされています。この時期に合成界面活性剤が発明され、1859年イギリスで設立されたユニリーバーが、合成界面活性剤を使用した製品を開発し、エマルジョン化粧品が登場しました。

これにより、スキンケア製品がより洗練され、美容目的に重点が置かれるようになったのです。また、プロクター・アンド・ギャンブル(P&G)も19世紀初頭に設立され、化粧品やスキンケアの分野で大きな影響を与えました。

これらの会社は、スキンケア製品の品質向上と美容目的に重点を置いた製品開発に貢献しました。この変化は、スキンケアの進化において重要な転換点と言えるでしょう。

合成界面活性剤の発明やエマルジョン化粧品の登場により、スキンケア製品の効能が大幅に向上しました。科学技術の進歩により、美容目的の製品が開発される道が開かれました。

19世紀初頭、スキンケアの目的が健康から美容へと変わった背景には、科学技術の進歩以外に社会的な影響が大きく関わっています。